



「なしおとめ」原木  
(H7交配実生)の写真  
(開花状態)

## ジューシーな味わい！県内初のオリジナル品種梨



「なしおとめ」という商標名は、一般公募して1345点あった応募の中から豊岡市の小学生の案が採用された。  
写真提供：新温泉農業改良普及センター

### ■(取材協力) 県立農林水産技術総合センター 北部農業技術センター

[所] 兵庫県朝来市和田山町安井123 [問] 079-674-1230  
\* 8月下旬頃よりファーマーズマーケット「たじまんま」豊岡店等で販売予定。まだ出荷数が少ないため、見つけた人はラッキー！ぜひ貴重な新種の梨を食べてみてね！

兵庫県で初となる梨のオリジナル品種「但馬1号『なしおとめ』」をご存知だろうか。香美町を中心に新温泉町や豊岡市の農家で栽培され、8月中旬から食べ頃を迎える。

元々、但馬地域で栽培されている梨は9月頃に収穫される「二十世紀」系が8割を占めており、品種のバリエーションが少なかった。そこで県立農林水産技術総合センター北部農業技術センターでは、夏の観光客需要への対応や収穫時期を分散して経営の安定化を図るために、平成7年より新しい早生品種の開発を進めてきた。

まずは青梨品種「玉吉香」に赤梨品種「幸水」を交配して、78個体の実生を得て選抜をスタート。そこから約6年後にできた大量の果実を職員が自ら食べて、堅さ・甘さ・風味・みずみずしさに加えて、収穫期や病気に強いかなど様々な条件に合った1個体を選定していった。

平成25年には一般消費者への試食アンケートを実施し、販売化を希望する声が多く高評価の結果となった。平成29年4月に品種登録が完了し、ようやくオリジナルの梨が誕生した。

「木本性の植物なので、交配から品

種登録、剪定方法や栽培特性の把握までに長い年数がかかりました。実生を枯らさないように土づくりや水やりなど、管理には細心の注意を払い、「た」と農業・加工流通部部長の山中正仁さんは話す。

重さ約400グラムもある大きな果実は高級感があり、他の品種に比べて種の周囲の果芯部が小さく、食べられる部分が多いので食べ応え十分。糖度は12度以上でみずみずしくてさっぱりとした甘味特徴だ。

晩夏に美味しく食べられる但馬の梨をぜひ1度ご賞味あれ。



うへ山の棚田 (香美町小代区)

写真提供：吉田利栄

資産運用

保険

年金

各種ローン

お気軽にご相談ください

**但馬銀行**  
TAJIMA BANK

# お届け！ 職レポ隊

～但馬が誇る企業の現場に密着～

vol.10



非常時電源に限らず、防災・減災対策についても企業や家庭へ提案を行っている。



「おすそ分け電源の輪」プロジェクトの看板。災害時に携帯電話などが使えるようになる。



但馬の遊休土地に並ぶ太陽光パネル。キヅキ商会在提案施工し、アフターサポートまで行っている。「特定の地域で、これだけ大規模に設備の管理まで行なっているところは珍しいですよ」と、同社太陽光発電アドバイザー中島知哉さん。定期的なセミナーや紹介などの口コミだけで、設置の輪が広がり続けている。

## 非常時の備えに。 地域の太陽光発電

DATA

### 株式会社 キヅキ商会

【所】豊岡市元町11-21(本社) TEL.0796-22-5168(本社)  
◎住宅資材や太陽光発電システムを扱う地域密着型企業。  
但馬にふさわしい太陽光発電を提案し、アフターケアも行う。  
<http://www.kizuki-s.com/>

毎日コソコソと生産できる自然エネルギー。太陽光発電。今こそ身近で見られることも増えたが、雪や曇りが多い但馬には向かないし長年考えられていた。そこに注目したのが、豊岡市にある「株式会社キヅキ商会」だ。大正15年の創業以来、住環境商材や建築材を扱う会社として90年以上地域を支え続けてきた実績を持つ。

「私たちが太陽光発電に取り組んだキツカケは、東日本大震災当時の日本におけるエネルギー自給率の低さでした。自然災害に例外はなく、特に但馬は水害の多い土地です。まちの暮らしをより良くするためには、設置しやすく再生可能である太陽光発電が必要でした」と、同社代表取締役の木築基弘さんは振り返る。

しかし、但馬に目を向ける太陽光関連の企業は少なかった。しかし「これはできるかできないかではなく、やるべきこと。自分たちで行おう」と、キヅキ商会は独自の取り組みを始めた。

2012年、市内に発電システム試験場を建設。角度や方角など試行錯誤し、雪にも負けない設置法を突き止めた。但馬に適した設計が評判を呼び、現在までに2千世帯以上の電気をまかなえる量の施工を手がけたという。

太陽光発電と併に、「おすそ分け電源の輪プロジェクト」も広がりを見せている。これは長期間の停電が発生した際、同社が施工した産業用太陽光発電施設が作った電気を近隣住人に提供するもの。災害時を見据えた地域的な計画だ。但馬地域では約30か所の発電施設オーナーが賛同している。

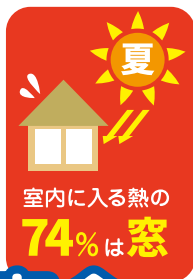
「日中の場合ですが、太陽光発電なら蓄電のない停電時でも電気が使えます。近隣の方々にも太陽光を身近に感じてもらいたい」と木築さん。

自然と人が共生する未来を目指す同社には、買い手・売り手・世間の三方よしに加え、社員、そして地球を加えた五方よしの経営理念がある。

「地域社会の安心を支える企業であり続けたい」という姿勢が評価され、但馬産業大賞にも選ばれた。同社が手がけた太陽光は、未来に向けて地域を明るく照らし続けていく。

暑さ対策は窓と日よけから！

「洋風すだれ」で  
エコ&省エネを実現！



内窓などの設置も効果的です。お気軽にご相談ください！



外からの熱を遮ることで室温の上昇を抑え、エアコンも効きやすくなりますよ。「おうち時間」を快適に過ごしましょう！

株式会社 キヅキ商会

兵庫県豊岡市元町11-21 (問)0796-22-5169 (ガラス営業部)